

第 19 回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成 30 年 12 月 17 日(月)16:00～17:00
- 場所：中央合同庁舎 8 号館 10 階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：不動産業界のデジタル化
- 招へい者：井上高志 株式会社 LIFULL 代表取締役社長
- 出席者：平井国務大臣、三輪 CIO、神成副 CIO、高田宇宙局長、住田知財事務局長、柴崎参事官(IT)、吉田参事官(IT)、高田企画官(IT)、吉川企画官(科技) 寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 井上社長からの説明

- 本業は不動産等の情報のポータルサイトの運営であり、経営理念としては、全ての人をハッピーにするために LIFE にかかわるデータベースを世界一持つ会社になろうとしている。現在、不動産、求人、中古車等の情報が約 5 億件あり、1カ月に延べ 2 億人が閲覧している。ビッグデータから利用者に合った最適な情報提供を目指している。
- 不動産業界はまだアナログで遅れている分野なので、改革していきたい。不動産契約のうち賃貸契約はオンラインでの手続きは可能なのに、売買契約を行う際には重要事項説明は、対面で行うこと及び契約書への署名と捺印が、法律で規定されている。所有者不明や未登記も含めた全ての不動産にマイナンバーのように番号を付けてデータベース化してブロックチェーンで低コストで管理できるようにして、売買契約から登記までオンラインでできるようにしたい。
- 日本の住宅市場は累計投資額が900兆円にもかかわらず、資産価値は400兆円に減っている。日本の場合、木造住宅は22年経つと値打ちが無くなってしまふ。これから人口も減るので、空き家も増加することになる。現在、530の自治体に空き家バンクに参加していただき、実際に売買も可能である。これでリノベーションされ、民泊ができて収入が得られれば、参加する自治体も増えると思う。今後、外国人は成長要素。民泊のような宿泊要素や、アトリエやガレージを持ちたいという人のセカンドハウスの需要はある。

3. 質疑応答・議論

- 不動産情報をデータベース化するには、法人番号とも結びつけた方が良いのではないか、という意見があった。
- 民泊は自治体に責任を負わせている面が多く、結果として規制も厳しいので参入しにくい形になってしまっているのではないか、という意見があった。
- 例えば、港にはヨットやクルーザー等の船舶が多数停泊しているが、使用頻度は少ないので、IT で様々な業種をマッチングさせる事により付加価値が出せるのではないかと、高額で使用頻度が低いものはシェアリングエコノミーに適しており、事業を立ち上げるなら全世界的に、かつオリンピック・万博を視野に入れて実施したほうが良いという意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)